

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	府中保育園	施設種別	保育所
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

平成26年3月22日

総 評	<p>府中保育園は、日本三景である「天橋立」に隣接しており、海や山に囲まれて四季折々の変化が楽しめる自然豊かな立地にあります。平成24年4月より、公立保育所から法人が民間委託を受けて運営が開始されました。</p> <p>理念である「一人ひとりの子供達が集団の中で、今をもっともよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を養う」の実現のため、管理者のリーダーシップのもとにさまざまな保育展開がなされてきました。延長保育をはじめ、一時預かり保育（未入園児対象）、特別支援保育、子育てサポートセンター事業「おやこの広場」、休日保育など多様なニーズにこたえるべく様々な事業展開を行っています。</p> <p>公立保育所から継続するにあたっては様々な困難があったことは想定されますが、保護者に安心して預けてもらえるよう信頼関係づくりに努め、アンケートからわかるように保護者から信頼を得たことはひとえに職員が日々のコミュニケーションを大切にし真摯に取り組んだ結果だと思われまます。</p> <p>あわせて特に地域とのつながりを大切にされており、敬老会等地域行事にも積極的に参加されていました。保育実践においては、恵まれた自然環境を活かし、近隣の神社や山登りを行ったり、明るくのびのびと育つ環境が整っていました。また、「食」を身近に感じられるよう自らの育てた野菜を食べたり、代替食や手作りおやつなどきめ細かい取り組みが見られました。衛生管理、安全についてもしっかりとなされていました。</p> <p>今回の評価は、非常に謙虚に自己評価をされておりましたが、さらに保育サービスの向上に努め、地域の拠点となっていかれることを期待いたします。</p>
特に良かった点(※)	<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p> <p>京都府保育協会、宮津市の勉強会に積極的に参加して資質向上を図っている。また、半期に一度、職員アンケートを実施し、職員の意見を吸い上げ、保育サービスの質の向上に努めている。また、組織風土診断をし、データの分析を行っている。職員の意見もふまえ、補助金を活用し計画的に備品購入を行っている。</p> <p>II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p> <p>保育園便りなど利用して保育園での行事や取り組みなどを、地域に広く理解を得るために積極的に取り組まれている。</p> <p>また、園の取り組みとして子育てサポート事業「ワクワク広場」を実施している。また、園の情報はホームページで公開されている。</p>

	<p>IV-1-(1) 健康管理・食事</p> <p>健康管理はマニュアルに沿って行い、申し送りも滞りなく行われていて、クラス担任以外の保育士が対応する時間帯であっても、マニュアルに沿った対応がなされていた。検診結果についても適切に対応し、虫歯予防につなげている。</p> <p>食事においては、BGMを流したり、ランチマットを使用するなど年齢に応じた食事を楽しめるよう環境設定がされていた。また、園内で作った野菜を給食に取り入れるなど食への関心を高めるための取り組みもされていた。</p> <p>また、アレルギー対応についてもマニュアルが作成されていて、医師の指示書をもとに個別対応がなされていた発熱など感染症が疑われる子どもは備忘録により色付けし、職員への周知を図っていました。また、事故対応では、「ヒヤリ・ハット」事例を職員の目の付くところに平面図で示すことで未然防止が図られていました。</p>
<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<p>II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。</p> <p>実習指導者は担当が決められており、実施前のオリエンテーションは行われているが実習指導者への研修が行われてなかった。また、実習生に対して評価、反省は行われていたが、分野ごとの計画的に学べるプログラムが作成されていなかった。</p> <p>III-2-(2) ①入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている。</p> <p>「アセスメント」については、様式は定められていたが手順や見直しの時期などが明確に定められていなかった。アセスメント等の見直しに当たっては、日にちを記入されることをおすすめします。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	府中保育園
施設種別	保育園
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」
訪問調査日	2014年1月21日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	a	a
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	a	a
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	b	b
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	b	a
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	a	a
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	b	a
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	a	a
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	a	a
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	b	b
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	a	a
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	a	a
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	a
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	a
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	a
[自由記述欄]				
I-1-(1)	①②理念、基本方針が明文化され、園のしおりに記載されているとともに各クラスにも掲示されている。			
I-1-(2)	①保育理念・保育方針・保育目標については会議などで周知しているが、非常勤職員への説明や継続した取り組みになっていない。 ②毎年4月に配布しているしおりに理念等記載されている。クラス懇談会において説明を行っている。地域の文化祭へ出展する際に地域への保育園の活動の説明もを行っている。			
I-2-(1)	法人の中・長期計画に加え園独自としても策定されている。			
I-2-(2)	①保護者の意向は懇談会や面談において把握に努めている。また、公立から運営の受託に際して利用者アンケートを行い、その意見を基に休日保育を行っている。 ②保育過程をもとに年間、月間、週案計画が作成されている。その内容についても子供が主体的に活動できるような計画が作成されている。 ③クラスごとに週案では、評価を行い翌週の指導計画を作成、月案も月1回の評価を行い翌月の指導計画に反映している。 ④各年齢の年間指導計画について担任・主任・園長が主に作成しており、全職員での検討、見直しとなっていない。 ⑤職員については年度初めに配布し説明を行っている。保護者へはクラス便りや園便りでわかりやすく説明を行っている。			
I-3-(1)	①管理者の分担表に文章化し貼り出すなど職員に周知している。園便りなどに管理者としての責任を表明している。 ②法令順守については、研修会、職員会議で周知を行っている。また、リスト化して開示している。			
I-3-(2)	①京都府保育協会、宮津市の勉強会に参加して資質向上を図っている。半期に一度、職員アンケートを実施し、職員の意見を吸い上げ、保育サービスの質の向上に指導力を発揮している。 ②管理者が「組織風土診断」を実施し、経営や業務の効率化にむけたデータの分析を行っている。また、備品の整備等については計画的に購入を行っている。			

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	a
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a	a
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	a
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a	a
		③ 定期的な職員の健康診断やメンタルケアを実施している。	a	a
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	a
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a	a
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		a	a	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	b	b	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	b	b	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	a
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	b	a
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	a	a
[自由記述欄]				
II-1-(1)	社会福祉事業全体及び地域の動向を的確に把握し、中長期計画に反映されている。			
II-2-(1)	年度初めまでに人事方針が策定され、子ども的人数に応じた人材の採用計画がある。			
II-2-(2)	①資格取得のための事業者の具体的なプランがある。また、職員に対し個別面談も定期的に設定され、相談しやすい体制が工夫されている。 ②職員に対する健康管理などは年2回の健康診断や専門家による指導なども具体的に組み込まれている。			
II-2-(3)	①法人として研修計画が明確にされており、それに基づき個別の希望を取り入れた、新人、中堅など、年間計画が明示されている。 ②年度初めに個別の研修計画が策定されている。また、その実施、評価などが行われ、次の研修計画に反映されている。 ③研修実施後には報告書の提出、会議などで成果や分析が行われている。			
II-2-(4)	①実習指導者は担当が決められており、実習生に対する事前オリエンテーションは実施されているが実習指導者の研修は行われていない。 ②実習生と共に、園長、主任、担当職員などにより丁寧に評価、反省など行われている。実習に関する計画的に学べるプログラムが作成されていない。			
II-3-(1)	①保育園便りなど利用して保育園での行事や取り組みなどを、地域に広く理解を得るために積極的に取り組まれている。 ②園の取り組みとして子育てサポート事業「ワクワク広場」を実施している。また、園の情報はホームページで公開されている。 ③ボランティアに関するマニュアルは整備されている。また、受け入れにおいて担当が決まっており、守秘義務等の説明を行っている。			
II-3-(2)	①「関係機関一覧表」が作成され、職員間で共有されるとともに各機関との連携が常時できるように整備されている。			

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	a
		Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b
	② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	a	
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	a	a
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	a	b
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	a
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	a
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b	a
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a	a
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b
[自由記述欄]				
Ⅲ-1-(1)	プライバシー保護に関する規定やマニュアルは整備され、職員全体に周知している。写真掲載や連絡網の作成については書面にて承諾を得ている。			
Ⅲ-1-(2)	①苦情解決の仕組みが確立され、保育園のしおりに明記されているが、結果の公表がされていない。 ②保護者からの意見などについて、職員間で検討し、迅速に対応している。			
Ⅲ-2-(1)	評価委員会を設置し、職員全体で、評価項目に取り組み、分析や計画の見直しなどもされている。			
Ⅲ-2-(2)	①入園後、定められた様式によって健康管理がされているが、「アセスメント」の手順や見直しの時期などが明確に定められていない。 ②③記録の管理体制が確立されており、保存規程も定められている。また、記録や一人一人の保育についての情報などは月1回の職員会議などで共有されている。			
Ⅲ-3-(1)	①保育所を紹介するパンフレットやホームページ、ビデオもあり具体的に情報を発信されている。 ②入園に関する書面なども、しおりに基づき個別に丁寧に説明されている。			
Ⅲ-3-(2)	保育終了にあたり、継続性について配慮されているが、書面での引継ぎがなされていない。			

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	a	a	
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	b	a	
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	a	
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	a	a	
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	a	a	
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	a	a	
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	a	a	
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	a	a	
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	b	b	
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	a	a	
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	a	a	
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	a	a	
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	b	b	
		④ 身近な自然や社会とかがわかるような取り組みがなされている	a	a	
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	a	a	
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	a	a	
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	b	a	
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	a	a	
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a	
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a	
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	b	a	
	【自由記述欄】				
	IV-1-(1)	<p>①「健康管理マニュアル」に基づき健康管理を行っている。登園時には個々に視診、状況に応じ保護者から聞き取りをし、健康状態を把握していた。クラス担任外の保育士が対応する時間帯であっても、マニュアルに沿った対応がきちんとされていた。個々に予防接種、病歴のチェック表を作成し、半年毎に見直しが行われていた。</p> <p>②検診結果は即日保護者へ文書で返していた。囁託医とは検診後に気づいた点や対応について話し合いが行われていた。</p> <p>③検診結果については即日結果を文書で知らせ、虫歯予防につなげている。年に1回、歯科衛生士によるブラッシング指導を受け、虫歯予防を促している。</p> <p>④「感染症マニュアル」があり、職員会議で周知している。また園内で感染症が発生した時には職員に周知し、掲示板で保護者にも伝えていく。</p> <p>⑤BGMを流したり、ランチマットを使用する等、年齢に応じて食事を楽しめるよう環境を設定されていた。給食に自分たちで作った野菜を使い、食への感心を高める食育をされていた。</p> <p>⑥行事食については、栄養士、調理師、保育士が意見を出し合い、メニューが作成されている。廊下から給食室の様子が見られ、食への感心へとつながっているのが伺えた。</p> <p>⑦給食とおやつを試食会を年に1回ずつ実施しており、実施後にはアンケートをとっていた。</p> <p>⑧「アレルギー対応マニュアル」に応じ、医師の指示書を提出の上、個別に対応されている。</p>			
	IV-1-(2)	<p>①遊具の点検は月1回実施、遊具点検表に記入して把握されていた。また、保育室は採光に配慮され、窓を開け、換気を行うなど、環境整備に努められていたが、園の寝具の消毒ができていなかった。</p> <p>②保育室はマットや壁面などの配色に配慮されているとともに畳などを配置し、子供たちが安心できるスペースが確保されていた。</p>			

IV-1-(3)	<p>①子どもの年齢に応じた受容、言葉かけがなされていた。低年齢児はゆったりと落ち着いて遊べるよう保育士が側につき、幼児クラスの子ども達は目的を持って活動ができるように見守りがあった。子どもの自主性を尊重した関わりが見られ、自主性を伸ばす環境、言葉かけがなされていた。登園時もスムーズに受け入れがなされていた。</p> <p>②年齢に合わせた言葉かけや一人ひとりのリズムに合わせてるように配慮されていた。</p> <p>③子どもの意欲を引き出す遊びや玩具が用意され、個々に遊びを見つけ楽しむ姿が見られたが、前運営時からの物で使用できなくなった玩具等入れ替えが行われていないと認識されていた。</p> <p>④保育園の周囲には自然がたくさんあり、それらを生かした保育実践がなされていた。園外保育の際には汽船に乗るなど、社会事象を取り入れた保育実践も行われていた。消防署や小学校との交流も多く持たれ、宮津署で普及させている交通用語『いかのおすし』など、子ども達が身近に感じているものもあった。</p> <p>⑤日々の保育において自由に遊べる時間や体を使った表現遊び、絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れていた。</p> <p>⑥保育の場面において異年齢児との交流をもつ時間があり、縦割りの中で思いやりやいたわりの姿勢が育てられていた。</p> <p>⑦人権擁護研修などに参加し全職員で共有している。</p> <p>⑧性差による分け方ではなく個々を尊重した保育を行っている。</p> <p>⑨「健康管理マニュアル」を作成し、「SIDS」防止のための勉強会を行っている。また、「SIDS」予防チェックシート表を作成し対策を行っている。</p> <p>⑩長時間保育の子どもにはゆっくりと過ごせるよう、畳や絨毯、床暖房を設置するとともに年齢に合わせて軽食が用意されていた。</p> <p>⑪障害のある子どもを受け入れており、同法人の障害者支援施設と連携し特性に合わせた対応が図られていた。</p>
----------	---

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	a	a
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	b	a
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	a	a
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	a	a
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	a	a
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	a	a
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	b	a

[自由記述欄]

IV-2-(1)	<p>①送迎の際のコミュニケーションなど日常的に情報交換を行なっている。お迎えの際にはホワイトボードに一日の様子を書いて保護者に知らせている。</p> <p>②個別の行動記録があり、家庭の状況に関して情報交換などを行っている。また、年齢に応じた書式を作成している。</p> <p>③年2回のクラス懇談会のほか、5月に個別懇談会、年長児へ就学に向けた面談、保育参加として祖父母参観なども行っている。</p> <p>④⑤「児童虐待対応マニュアル」が作成されており、関係機関への連絡先が明示され、職員にも周知されている。</p> <p>⑥定期的に就学指導会議が行われており、小学校との間に情報交換が行われている。地区運動会や演劇鑑賞会等の行事で地域との連携体制がとられている。個人記録としては「日々の観察記録」「月間のまとめ」「年間のまとめ」を統一した書式で記録されており、発達状況、保育目標、生活状況等を記載されている。書式については毎年見直し、検討されている。</p>
IV-2-(2)	<p>①一時保育専用の保育室はないが、一時預かりの子どもの年齢が合ったクラスで過ごすなど、配慮されている。一時保育担当の保育士もおられ、十分な配慮がなされている。</p>

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	b	a
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	a	a
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	b	a
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	a	a
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	a	a

[自由記述欄]

IV-3-(1)	<p>①子どもの安全確保に関しては「衛生管理係」と「リスクマネジメント係」を中心に安全対策に取り組んでいる。</p> <p>②「調理室における衛生管理マニュアル」があり、その中の「食中毒を予防するために」に基づき、全職員に周知している。また、食中毒発生時の対応（動き、関係機関への連絡先）を明示している。</p> <p>③毎週月曜日の朝礼や職員会議等で、園長により子ども達に対する安全教育が行われていた。事故防止チェックリストがあり、ヒヤリハット、事故発生報告書を記入し、未然に防止策が検討されていた。</p> <p>④「事故災害発生時対応マニュアル」があり、保護者を交え交通安全教室を年2回、避難訓練を毎月1回実施していた。</p> <p>⑤「不審者への対応防犯マニュアル」があり、警察との連携がある。</p>
----------	--